

平成28年度

事業報告書

社会福祉法人 魚津市社会福祉協議会

平成28年度 事業報告

少子・高齢化の進行、認知症高齢者の増加や一人暮らし高齢者世帯の拡大、地域社会や家庭の機能が大きく変容していく中で、介護保険制度など既存制度だけでは対応できない生活支援ニーズや社会的孤立、貧困を背景とする深刻な生活課題が顕在化しています。

「誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる福祉のまちづくり」を目指す魚津市社会福祉協議会は、これらの課題の解決に向けた取組みを進めていくことが強く求められています。

こうした状況の中、平成28年度は『第4次魚津市地域福祉活動計画』の策定、並びに市社協の目指すべき将来像や経営基盤の強化の具体的な取組み等を中長期の視点で定める『中期経営計画』の策定を行いました。さらに、介護保険事業や指定管理事業においては、多様化するニーズに対応した質の高いサービスの提供と法人経営の安定化に向けて積極的に取り組みました。

【重点目標】

1. 法人経営の安定化と自立、財政の効率化と透明化
2. 地域協働による地域福祉の推進
3. 福祉総合相談支援体制の充実
4. 介護保険事業者としての質の高いサービスの提供と効率的な運営

地域福祉拠点

(決算額 163,340,715円 サービス区分間内部取引消去後の額)

1 法人運営事業 (決算額 111,943,839円)

(1)法人運営事業 (決算額 57,408,846円)

【推進目標】

- 各課、各事業所において多様化するニーズに対応した効率的、効果的な事業を推進します。
- 職員の能力や性格、興味等を反映させた研修を実施します。
- コンプライアンス(法令の順守等)を徹底します。
- 自主財源の確保と経営の透明性を図ります。

【取組み状況】

・理事会、監査会及び評議員会等の開催状況

各種事業を効果的に推進するため、経営執行機関としての理事会、議決機関である評議員会を活性化し、法人組織運営体制の強化に努めました。また、改正社会福祉法の施行に伴い、平成29年4月からの評議員を選任するため、監事1人、事務局員1人、外部委員2人の計4名で構成する「評議員選任・解任委員会」を平成28年12月に設置しました。

【理事会】

開催年月日	出席状況	議決事項等
平成28年 4月1日	14人	議案第6号 評議員の委嘱同意について (文書審議)
平成28年 5月25日	12人	議案第7号 評議員の委嘱同意について 議案第8号 平成27年度事業報告について 議案第9号 平成27年度決算報告について 議案第10号 平成28年度社協会長表彰被表彰者の決定について 報告事項(1) 平成28年度社協会長感謝状の受賞者について 報告事項(2) 災害見舞金の支給について
平成28年 11月18日	14人	議案第11号 定款の全部変更について 議案第12号 評議員選任・解任委員会運営細則の制定について 議案第13号 評議員の選出等に関する規程の制定について 議案第14号 役員を選任等に関する規程の制定について 議案第15号 職員育児・介護休業等に関する規程の一部改正について 議案第16号 平成28年度資金収支第1次補正予算について 報告事項(1) 平成28年度上半期事業執行状況及び収支状況について

平成29年 1月20日	13人	副会長(1人)の選任について 議案第1号 評議員の委嘱同意について 議案第2号 評議員選任・解任委員の選任について 議案第3号 新評議員候補者の推薦について
平成29年 2月22日	12人	議案第4号 評議員選任・解任委員会の招集について 議案第5号 職員就業規則の一部改正について 議案第6号 契約職員就業規則の一部改正について 議案第7号 パート職員就業規則の一部改正について 議案第8号 職員給与規程の一部改正について
平成29年 3月24日	14人	議案第9号 経理規程の全部改正について 議案第10号 平成29年度事業計画について 議案第11号 平成29年度当初予算について 議案第12号 平成28年度資金収支第2次補正予算について 議案第13号 任期満了に伴う苦情解決第三者委員の選任について その他(1) 中期経営計画の策定について その他(2) 第4次魚津市地域福祉活動計画の策定について

【監査会】

開催年月日	出席状況	監査内容
平成28年 5月19日	2人	平成27年度事業実施状況について 平成27年度収支決算状況について

【評議員会】

開催年月日	出席状況	議決事項等
平成28年 4月1日	30人	議案第4号 理事及び監事の選任について(文書審議) 議案第5号 理事の選任について(文書審議)
平成28年 5月25日	24人	議案第6号 平成27年度事業報告について 議案第7号 平成27年度決算報告について 報告事項(1) 文書審議の結果について 報告事項(2) 災害見舞金の支給について
平成28年 11月18日	21人	議案第8号 定款の全部変更について 議案第9号 平成28年度資金収支第1次補正予算について 報告事項(1) 平成28年度上半期事業執行状況及び収支状況について
平成29年 3月27日	17人	議案第1号 平成29年度事業計画について 議案第2号 平成29年度当初予算について 議案第3号 平成28年度資金収支第2次補正予算について 議案第4号 理事及び監事の選任について その他(1) 中期経営計画の策定について その他(2) 第4次魚津市地域福祉活動計画の策定について

【評議員選任・解任委員会】

開催年月日	出席状況	内容
平成29年 3月2日	4人	(1)委員紹介及び委員長の選任 (2)評議員候補者24名の選任について

・職員研修の実施状況

職員の資質向上と課題に的確に対応できるよう、富山県福祉カレッジや他機関主催の研修に参加し、高い専門性を備えた福祉人材の養成に努めました。また、「自分を知る」、「社協を知る」ことを目的に、正職員・契約職員を対象に適性検査及び1日職場体験を企画・実施しました。

・一般事業主行動計画に基づく家庭教育講座の開催

子育てや家庭教育の充実のためには、職場の理解や協力、仕事と家庭の両立の推進が必要であり、また、子供たちの健やかな成長は、次世代を担う人材の育成にも繋がることから、全職員を対象とした「家庭教育講座」を11月15日・17日に開催しました。

・改正社会福祉法対応セミナーの開催

理事、監事及び職員を対象に、改正社会福祉法の施行のポイントとなる経営組織の見直し、財務規律の強化、行政関与のあり方などを学ぶため、10月3日にアシシステム税理士法人の医業事業部の大平祥司部長を講師に招き、セミナーを開催しました。

・職員の健康保持増進と快適な職場環境の整備

月1回開催の衛生委員会で各職場の4S活動(整理、整頓、清掃、清潔)報告を徹底し、労働災害防止に努めている。また、メンタルヘルスケアの推進として、「心の健康づくり計画」を策定し、ストレスチェックの実施や相談体制の明確化など、職員の心の健康の保持増進に努めました。

・社協会費の納入状況

市民の皆様の地域福祉への理解と社会福祉協議会の事業への賛同のもと、1戸あたり300円を納入いただいた。社会福祉協議会の貴重な財源であり、地域に向けて様々な福祉活動を展開することで市民の皆様に還元しました。

【納入実績】

区 分	平成28年度	平成27年度	増 減
納入額(戸数)	3,716,700円(12,389戸)	3,728,700円(12,429戸)	△12,000円(△40戸)

(2)社会福祉事業振興基金運営事業(決算額 500,000円)

【推進目標】

○元本安全性の確保、運用収益の最大化を踏まえ確実に運用します。

【取組み状況】

・平成28年度末の残高は180,844,908円となり、利付国債と定期預金で運用しました。

種 類	利率	額面(円)	購入単価(円)	金額(円)	償還日・満期日
利付国債(20年)第144回	1.50%	77,000,000	98.682	75,177,856	平成45年3月20日
利付国債(30年)第10回	1.10%	23,000,000	95.904	22,210,112	平成45年3月20日
定期預金①	0.07%	—	—	75,000,000	平成30年3月31日
定期預金②	0.02%	—	—	7,456,940	平成30年3月24日
合 計				180,844,908	

(3)地域包括支援センター介護予防支援事業(決算額 23,639,704円)

【推進目標】

○社協職員が市地域包括支援センターに出向し、専門知識を活かしながら高齢者が住み慣れた地域で安心して過ごせるように支援します。

【取組み状況】

・社協職員(介護支援専門員)5人が市地域包括支援センターに出向し、要介護状態へ移行することを予防する観点から介護予防マネジメントを行いました。また、介護予防・日常生活支援総合事業が今年3月から始まり、介護予防・生活支援サービス事業対象者に対する予防プラン作成を行いました。(1人あたり平均担当件数:61件)

(4)介護認定調査受託事業(決算額 5,628,902円)

【推進目標】

○社協職員が市社会福祉課に出向し、公平公正で客観的かつ正確な介護認定調査を実施します。

○認定調査の方法や選択基準等の十分な理解と面接技術等の向上を図ります。

【取組み状況】

・社協職員2人が市に出向し、介護認定調査員として要介護申請者の自宅や入所中の施設、入院中の病院を訪問し、調査項目に従い、心身の状態についての聞き取り、確認による調査表のまとめ等を行いました。

(5)退職共済積立事業(決算額 24,603,130円)

【推進目標】

○全国社会福祉協議会が運営する退職手当積立基金制度に加入しており、正職員の掛金納付や退職年金等の支給手続きや、将来の退職手当給付に充てるための資産確保に努めます。

【取組み状況】

・正職員55人分の掛け金納付や退職年金受給者1人分の手続きを行うとともに、全社協からの退職手当積立基金加入状況、資産運用状況等の報告を注視しました。

⑥(6)中期経営計画策定事業（決算額 163,257円）

【推進目標】

- 社協の目指すべき将来像や果たすべき使命、具体的な取組みを中長期的な視点で策定します。
- 第4次魚津市地域福祉活動計画と整合性を図り、相互に補完・連携する計画とします。
- 計画の期間は平成29年度から平成33年度までの5年間とします。

【取組み状況】

- ・理事、監事及び評議員14人で構成する策定委員会と、各課長や事業所長等で構成する作業部会により策定作業を進めました。計画の内容は、5つの事業部門の設定とその取組み、本会の経営基盤の強化を図るための事業管理、組織管理及び財務管理のあり方を示すものとなっています。

【作業経過】

開催日	委員会等	内 容
平成28年 4月28日	第3回 策定委員会	・市社協の使命、経営理念、経営方針及び経営重点項目(案)について ・各部門における重点目標の設定について ・意見交換、今後の作業の進め方について
平成28年 7月20日	作業部会	・重点目標の構成要素の確認について ・実施計画の作成について
平成28年 7月25日	第4回 策定委員会	・市社協施設整備検討の経過について ・意見交換等
平成28年 9月9日	作業部会	・実施計画素案について (法人運営部門、地域福祉活動推進部門、指定管理運営部門)
平成28年 9月13日	作業部会	・実施計画素案について (指定管理運営部門、在宅福祉サービス部門)
平成28年 9月16日	作業部会	・実施計画素案について (福祉サービス利用支援部門)
平成28年 9月21日	第5回 策定委員会	・各部門の実施計画素案について ・意見交換、次回の委員会開催について
平成29年 1月31日	第6回 策定委員会	・計画の構成案について ・各部門の実施計画の一部修正案について ・最終素案作成までのスケジュールについて
平成29年 3月17日	第7回 策定委員会	・最終素案について (経営基盤の強化に関する取組み、計画の進行管理と評価)
平成29年 3月24日	理事会	・中期経営計画の概要について説明
平成29年 3月27日	評議員会	・中期経営計画の概要について説明

2 魚津善意銀行事業（決算額 8,696,671円）

【推進目標】

- 市民の皆様からの善意を寄附金や寄附物品という形でお預かりし、地域での様々な福祉活動の貴重な財源として活用します。
- 寄附の趣旨や使途を広報誌等で市民にPRし、寄附金額及び寄附件数の増加を図ります。

【取組み状況】

寄附金の実績

区 分	平成28年度		平成27年度		増 減	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
一般寄附	132件	3,162,109円	154件	5,181,730円	△22件	△2,019,621円
指定寄附	14件	790,000円	9件	2,450,000円	5件	△1,660,000円
合 計	146件	3,952,109円	163件	7,631,730円	△17件	△3,679,621円
物品寄附	2件	－円	8件	－円	△6件	－円

なお、善意のともしび助成事業については、応募団体がありませんでした。

3 地域福祉・ボランティア事業（決算額 40,043,709円）

(1)見守りネットワーク推進事業（決算額 2,700,000円）

【推進目標】

- 見守り活動を通じて、住み慣れた地域で安心して生活できるよう支援を行います。
- 地区社協や民生委員児童委員、福祉推進員と連携強化し、支援体制の整備を進めます。

【取組み状況】

・毎月、福祉推進員には担当地区の見守り世帯の状況を活動記録表に記載していただき、活動記録表を民生委員、地区社協会長が確認し、市社協に提出していただきました。その後、地域包括支援センターにも情報提供し連携強化に努め、支援の円滑化を図りました。また、各地区でケース検討会を実施し、地域課題の共有化を図り連携強化に努めました。

【活動実績】

区 分	平成28年度	平成27年度	増 減
福祉推進員数	314人	312人	2人
地区ケース検討会開催回数	25回	28回	△3回

【研修会の開催状況】

- ・平成28年度 新任福祉推進員研修会
日時：平成28年4月27日(水) 19:00～20:20
場所：新川文化ホール104会議室
内容：「魚津市の高齢者福祉の現状および地域福祉の推進について」
「福祉推進員の活動について」

(2)地域住民グループ活動支援事業（決算額 3,209,000円）

【推進目標】

- 一人暮らし高齢者や障がい者、子育て中の人などが地域で気軽に集まる場や仲間づくりのためのサロン活動の推進を図ります。

【取組み状況】

・小地域単位の高齢者の集いの場として、「ふれあい・いきいきサロン」が実施されており、閉じこもり予防や介護予防等に効果を発揮しています。活動費の助成やサロン代表者研修会の開催、レクリエーション用品の貸出し等を行い、各サロンが円滑に活動できるよう支援しました。

【活動実績】

区 分	平成28年度	平成27年度	増 減
サロン設置数	83ヶ所	83ヶ所	0ヶ所
会員数	2,085人	2,052人	33人
開催回数	1,089回	1,050回	39回
参加者数	12,598人	12,215人	383人

(3)地域総合福祉推進事業（決算額 5,416,736円）

【推進目標】

- 地域ニーズに合ったケアネット活動を推進し、小地域福祉活動の充実及び地域の支え合いの体制づくりを進めます。
- ケアネット活動の周知とケアネット活動チーム数の増加を図ります。

【取組み状況】

- ・昨年度に引き続き、買い物サービス支援について、地域の特性に合った取り組みの体制づくりを実施しました。
- ・社協広報誌にケアネット活動を掲載し、幅広い周知を行いケアネット活動チーム数の増加に努めました。

【活動実績】

区 分	平成28年度	平成27年度	増 減
実施地区数	13地区	13地区	0地区
ケアネットチーム数	230チーム	270チーム	△40チーム
ケアネット参加人数	492人	498人	△6人
ケアネット活動回数	20,172回	19,264回	908回
ケアネット活動対象者数	230人	270人	△40人

(4)地域福祉強化事業（決算額 10,880,458円）

【推進目標】

○福祉活動専門員、ケアネット活動コーディネーター及びボランティア活動コーディネーターの専門職を配置し、福祉課題の解決に取り組みます。

【取組み状況】

・福祉活動専門員、ケアネット活動コーディネーター及びボランティア活動コーディネーターの専門職を配置し、地域住民やボランティア、地区社協、民生委員児童委員及び行政等と連携した福祉課題の解決に取り組みました。

⑤生活支援コーディネーター活動事業（決算額 4,455,177円）

【推進目標】

○高齢者の生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築に向けた協議体が設置されることに伴い、生活支援コーディネーターを新たに配置し、高齢者を支えるための地域における支え合いの体制づくりを推進します。

【取組み状況】

・「魚津市生活支援・介護予防サービス体制整備協議体」の会議に出席し、魚津市における介護予防・日常生活支援総合事業のあり方について協議を行いました。
・一般介護予防事業及び介護予防生活支援サービス事業の検討のため、先進地視察を行い、魚津市に応じた取り組みを検討しました。
・除雪ボランティアを足掛かりとした企業ボランティアの推進について提案し「地域貢献に関する意識調査」を実施しました。意識調査において「地域貢献に興味がある」と回答した企業に対し、除雪ボランティアの活動を働きかけ、平成28年度は7社の協力をいただき、市内の一人暮らし高齢者世帯などから15件の除雪ボランティア依頼に対応しました。

⑥買い物サービス支援事業（決算額 956,941円）

【推進目標】

○買い物支援を行うことにより、地域での高齢者や障がい者等の見守りや交流促進を図ります。
○地域住民による福祉人材の発掘、養成により、小地域福祉活動の充実を図ります。

【取組み状況】

・商店と連携した買い物支援対策の取り組みとして、県と市の助成金を活用し、冷蔵庫、商品陳列台などの必要な備品を購入するなど、買い物支援の充実のため環境整備を図りました。
また、地域と協力商店が連携することで、安心・安全の地域形成の一躍を担うとともに、地域の実情に沿った生活課題の対応策として本事業が定着するよう努めました。

【活動実績】

区分	利用者と支援者数	備考
市場形式（大町地区）	897人	平成28年10月～ 毎週金曜日
移動注文販売形式（片貝地区）	950人	平成28年4月～ 毎週水曜日
乗合買物カー形式（西布施地区）	86人	平成28年4月～ 毎月第3木曜日

⑦第4次地域福祉活動計画策定事業（決算額 694,368円）

【推進目標】

○福祉のまちづくりの推進のための方向性や具体的な取組みを定めた「第4次魚津市地域福祉活動計画」を「第3次魚津市地域福祉活動計画」の評価等を踏まえ策定します。
○計画の期間は、平成29年度から平成33年度までの5年間とします。

【取組み状況】

・社会福祉法人、ボランティアグループ、行政、地区社協等の実務者で構成する策定作業委員会を6回開催して計画について協議しました。
・10代から80代以上までの方を対象に年代別アンケート、当事者（高齢者、障がい者、子育て世代）ヒアリング、13地区地域福祉座談会、企業及び団体の地域貢献に関する意識調査を実施して各方向からニーズを把握しました。
・「みんなで安心して、暮らし続けることができる地域づくりのために」を基本理念に掲げ、「Ⅰ 地域を元気にする人づくり」、「Ⅱ 安心して暮らせる地域づくり」、「Ⅲ 地域で支え合うしくみづくり」の3つの基本目標を設定し計画を策定しました。なお、本計画では初めて13地区社協の地区（小地域）福祉活動計画を盛り込み、市社協と地区社協の協働で取り組む計画としました。

(8)障害者移送支援事業（決算額 4,972,462円）**【推進目標】**

○移動面から障がい者（児）の在宅生活を支援し、安心して暮らすことができる地域づくりを目指します。

【取組み状況】

・通院や福祉施設等を利用する際の送迎業務を行いました。なお、1月あたりの利用回数上限は、市民税非課税世帯の方は片道8回、市民税課税世帯の方は片道6回で運行しました。

【運行実績】

区 分	平成28年度	平成27年度	増 減
実利用登録者数	22人	22人	0人
延運行回数(片道)	496回	493回	3回

(9)ひとり暮らし高齢者給食サービス事業（決算額 800,000円）**【推進目標】**

○ひとり暮らし高齢者等に対し、民生委員児童委員やボランティアを通じて手作りのお弁当を提供することにより、高齢者等の自立生活を支援します。

○調理ボランティアがやりがいをもって、無理なく活動を継続できるよう支援します。

【取組み状況】

・調理ボランティアの資質向上を図るため研修会の開催や、ひとり暮らし高齢者給食サービス事業についての意向調査を実施しました。

【食数実績】

区 分	平成28年度		平成27年度		増 減	
	回数	食数	回数	食数	回数	食数
上中島	24	451	24	457	0	△6
上野方	21	266	21	280	0	△14
経 田	24	672	24	661	0	11
合 計	69	1,389	69	1,398	0	△9

【研修会の開催状況】

第1回調理ボランティア研修会 平成28年6月22日(水) もくもくホール 参加人数 23人

第2回調理ボランティア研修会 平成28年11月30日(水) もくもくホール 参加人数 22人

(10)ファミリーサポートセンター事業（決算額 5,234,567円）**【推進目標】**

○子育てを地域で応援し、安心して暮らせる相互支援体制の充実を図ります。

【取組み状況】

・子どもの預かり依頼があった際のコーディネートを行いました。また、新たな協力会員獲得に向け、社協広報誌等でセンターの周知に努めました。

【調整件数及び活動件数】

区 分	平成28年度	平成27年度	増 減
相互援助活動の調整件数	134件	112件	22件
相互援助活動の実施件数	35件	11件	24件

【援助実績】

区 分	平成28年度	平成27年度	増 減	
依頼会員(援助を受けたい者)	116人	118人	△2人	
提供会員(援助をしたい者)	17人	22人	△5人	
上記の両方会員	2人	3人	△1人	
区 分	平成28年度	平成27年度	増 減	
援助活動実績	一時預かり支援	0人	1人	△1人
	土日・祝日支援	10人	2人	8人
	病児支援	0人	0人	0人
	帰宅後支援(未就)	25人	8人	17人
	帰宅後支援(学童)	0人	0人	0人
	合 計	35人	11人	24人

【研修会の開催状況】

回	研修名	参加者数
1	平成28年7月11日(月) 10:00~12:00 会場：ひばり児童センター 内容：実技「手づくりおもちゃを作って遊ぼう！」 講師：社会福祉法人 魚津保育会 魚津第二保育園職員	22人
2	平成28年7月19日(火) 10:30~12:00 会場：魚津市社会福祉協議会 第1会議室 内容：講義・実技「一次救命処置 AED の使い方について」 講師：日本赤十字社 幼児安全指導員 橋本 美紀 氏	8人
3	平成28年7月26日(火) 10:00~12:30 会場：本江公民館 内容：実技「子どもが喜ぶ♪おいしいおやつ」 講師：栄養士 池田 澄子 氏	9人

(1)ボランティア活動事業（決算額 724,000円）

①ボランティアセンター運営事業（決算額 624,000円）

【推進目標】

- ボランティアニーズの受付、調整を行いボランティア活動への参加を促進します。
- ボランティア情報収集と発信を行い、ボランティア活動人口の増加を目指します。
- ボランティアセンター登録情報の整理を行い、他団体との連携協力を強化します。

【取組み状況】

- ・ボランティアニーズの受付、調整を行い、ボランティア活動への参加を促しました。また、センター登録情報を整理し、ボランティアとの「顔の見える関係づくり」に努めました。

【研修会等の開催状況】

研修内容等	参加者数
平成28年度ボランティアサポーター研修会 日時：平成28年5月18日(水) 13:30~15:00 会場：魚津市社会福祉協議会 第1会議室 講師：富山県社会福祉協議会 地域福祉・ボランティア振興課 浦山美希氏 内容：「ボランティアサポーターの役割と今後の期待」	11人
第1回傾聴ボランティア養成講座 日時：平成28年6月6日(月) 13:30~15:30 会場：新川文化ホール201号室 講師：富山国際大学 教授 村上 満 氏 内容：講義「心のつながりをつくる①」	45人
第2回傾聴ボランティア養成講座 日時：平成28年6月20日(月) 13:30~15:30 会場：新川文化ホール201号室 講師：富山国際大学 教授 村上 満 氏 内容：グループ討議・ワークショップ「心のつながりをつくる②」	48人
平成28年度災害救援ボランティアリーダー研修会 日時：平成28年7月16日(土) 13:30~16:40 会場：新川文化ホール201号室 講師：NPO 法人まちの防災研究会 理事長 松森 和人 氏 内容：講 義「いざという時あなたならどうする？」 ワーク「もしも時計の針が戻せたら」	58人
平成28年度魚津市総合防災訓練 日時：平成28年9月4日(日) 9:00~12:00 会場：旧片貝小学校 内容：①魚津市社会福祉協議会緊急連絡網（所属長等責任者）模擬訓練 ②災害ボランティアセンターの設置模擬訓練 ③魚津市社会福祉協議会職員による熊本派遣報告	15人

【センター登録者数】

区 分	平成28年度	平成27年度	増 減
個人登録数	74人	62人	12人
団体登録数	93団体 (3,745人)	90団体 (3,749人)	3団体 (△4人)
合 計	3,819人	3,811人	8人

【相談内容別件数】

区 分	平成28年度	平成27年度	増 減
ボランティアセンターの利用に関するもの	234件	61件	173件
ボランティア活動情報に関するもの	286件	543件	△257件
ボランティア講座・研修に関するもの	146件	4件	142件
ボランティア保険に関するもの	148件	96件	52件
関係者・人材の紹介等に関するもの	130件	60件	70件
助成金等に関するもの	21件	6件	15件
寄附・寄贈に関するもの	18件	5件	13件
福祉サービスに関するもの	0件	0件	0件
その他	183件	518件	△335件
合 計	1,166件	1,293件	△127件

②福祉教育地域指定推進事業（決算額 100,000円）

【推進目標】

- 地区社協や公民館、学校等が他団体と連携し、福祉教育やボランティア活動を実践します。
- 市内学校における福祉教育を充実させます。

【取組み状況】

- ・下中島地区社協と保育園や地元ボランティアグループが協力し、「わが町玄関口西魚津駅をきれいにしよう！（おもてなし大作戦）」をテーマに、地鉄西魚津駅周辺の環境整備や清掃除草活動を行いました。保育園児と一緒にプランターに花苗を植え、地域の美化活動を行いました。
- ・加積地区では、夏休みの寺子屋教室を実施しました。地域に暮らす障がいのある方の体験や車いすバスケットボール体験談を通して、障がい者理解を図り、「ともに生きる力」を育みました。

4 総合福祉相談事業（決算額 7,739,876円）

(1)総合福祉相談事業（決算額 240,000円）

【推進目標】

- 地域住民にとって身近な福祉相談窓口としての周知、啓発を図ります。

【取組み状況】

- ・生活に関する様々な悩みや相談に電話等で応じました。相談内容に応じて専門関係機関につなぎ、早期の課題解決に継続的に支援しました。

【相談実績】

区 分	平成28年度	平成27年度	増 減
生活での心配ごと・悩みごと相談	136件	260件	△124件
日常生活自立支援事業に関する相談	101件	14件	87件
生活福祉資金貸付に関する相談	701件	1,354件	△653件
ボランティアに関する相談	1,166件	1,293件	△127件
合 計	2,104件	2,921件	△817件

(2)日常生活自立支援事業（決算額 4,988,020円）

【推進目標】

- 認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者などの判断能力が不十分な方が地域で自立した生活が送れるよう、福祉サービス利用援助と利用者の権利擁護に努めます。
- 生活支援員の養成を行い、新規登録者の増加を図ります。

【取組み状況】

- ・適切な支援の実施のため利用者の希望に寄り添い、情報提供や金銭管理等を行いました。
- ・生活支援員の養成と資質向上のため、研修会や連絡会を開催しました。
- ・生活支援員の活動の紹介を行うと共に、説明会を実施し、人材の確保に努めました。

【援助実績】

区 分	平成28年度	平成27年度	増 減
実利用者数	55人	49人	6人
生活支援員登録者数	31人	31人	0人
実働生活支援員数	27人	25人	2人
専門員による相談援助件数	2,742件	1,248件	1,494件
生活支援員による定期援助件数	600件	299件	301件
専門員による臨時援助件数	158件	52件	106件

(3)生活福祉資金貸付事業（決算額 491,000円）

【推進目標】

- 低所得世帯、障がい者又は高齢者と生活する世帯に対し、資金の貸付けと必要な相談援助を行うことにより、その経済的自立を図り、安定した生活を送れるよう支援します。
- 民生委員児童委員等への貸付制度の周知と協力体制を構築します。

【取組み状況】

- ・資金貸付後の継続的支援については、就労が定着しない借受人に対し、就労定着支援のために東部生活自立支援センターと連携し、月1度の面談を行い職場での仕事内容や人間関係等についても丁寧に相談・助言を行いました。また、就労の定着が見込める借受人に対しては、電話連絡等による相談を行い、無理のない金額で継続的な償還ができるよう相談・指導しました。借受人と連絡が取れない場合は、市など関係機関や民生委員と情報交換を行い、借受人と償還についての協力体制の構築に努めました。
- ・償還が滞っている借受人の支援については、県社協とも十分相談の上、法的措置も含め今後の対応を検討しました。市社協としても、訪問や連絡を継続し、償還意思を持ってもらえるよう生活状況を把握しながら支援しました。

(4)生活困窮者自立支援事業（決算額 1,620,856円）

【推進目標】

- 生活保護に至っていない生活困窮者に対して、経済的自立や社会生活自立など本人の状態に応じた自立を支援します。
- 生活困窮者の早期把握や見守りのための地域ネットワークを構築し、働く場や参加の場を広げます。

【取組み状況】

- ・東部生活自立支援センターやハローワークなど関係機関と連携し、適切な支援体制の調整を行いました。また、ハローワークが主催する新川地域生活保護受給者等就労自立促進協議会に出席し、関係機関との情報交換を行い、適切な支援に努めました。

【相談実績】

区 分	平成28年度	平成27年度	増 減
相談件数	450件	583件	△133件

(5)法人後見推進事業（決算額 400,000円）

【推進目標】

- 法人後見人としての実施体制の整備強化を図り、適切な後見業務を推進します。
- 成年後見制度の普及啓発を図ります。

【取組み状況】

- ・法人後見推進委員会を2回開催し、被成年後見人及び被補助人の支援状況の報告、平成29年度の本事業の事業計画等を協議しました。また、成年後見制度に関する普及啓発活動として、セミナーを開催しました。
- ・「家事関係機関と家庭裁判所との連携協議会」や全社協主催の「権利擁護・虐待防止セミナー」等に出席し、包括的支援のための関係機関との連携・協働のあり方を学びました。

【支援実績】

区 分	平成28年度	平成27年度	増 減
後見人	1人	0人	1人
保佐人	0人	0人	0人
補助人	1人	0人	1人

5 共同募金事業（決算額 3,858,714円）

(1)いきいきサロン活動事業（決算額 300,000円）

【推進目標】

- サロン活動を通じた小地域福祉活動の充実と福祉教育を推進します。
- サロン数を増やし、高齢者が利用しやすい支援体制の構築に努めます。

【取組み状況】

- ・サロン代表者研修会の開催や、職員及び介護予防スタッフがサロンに出向き、レクリエーション指導や活動支援を行うとともに、レクリエーション用品の貸出しやボランティアの派遣等、サロン活動が円滑に行われるよう支援しました。

(2)地区社協活動推進事業（決算額 1,127,000円）

【推進目標】

- 地区社協の活動支援を行い、お互い様の気持ちで助け合える地域づくりを推進します。

【取組み状況】

- ・地域の特性を生かした三世代交流活動や子育て交流活動を行いました。

大町	「老遊の館」	片貝	三世代ふれあい事業
村木	子育てサロンたんぽぽ	加積	子育てサロン・異世代交流・見守り活動
下中島	地区社協広報	道下	子育てサロン・異世代交流
上中島	子育てサロン	経田	三世代交流事業
松倉	ふれあい訪問	天神	花鉢・おはぎプレゼント
上野方	野方ふれあい会・軽運動	西布施	三世代ふれあい交流
本江	三世代ふれあい事業		

(3)福祉でまちづくり活性化事業（決算額 400,000円）

【推進目標】

- 福祉意識の啓発と生きがいに通じる福祉の担い手の育成を図り、まちづくりを支援します。

【取組み状況】

- ・共同募金啓発のため、市内小学校に募金箱コンクール開催を周知し、入賞作品の表彰とショッピングセンター等で展示しました。
- ・地区社協や民生委員、福祉推進員、自主防災会等を対象とした「住民支えあいマップづくり」研修会を12月12日に開催しました。住民流福祉総合研究所の木原孝久所長を講師に招き、支えあいマップづくりを通じて、住民の繋がりを「見える化」し、住民がお互いを支え助け合う地域のための現状把握や取組み課題を抽出する手法を学びました。

④(4)買い物サービス支援事業（決算額 99,000円）

【推進目標】

- 買い物支援を行うことにより、地域での高齢者や障がい者等の見守りや交流促進を図ります。
- 地域住民による福祉人材の発掘、養成により、小地域福祉活動の充実を図ります。

【取組み状況】

- ・西布施地区における月1回(第3木曜日)の乗合買い物カー形式による買い物サービス支援を行いました。民生委員や福祉推進員、ボランティア等が添乗して、見守りや声掛けを兼ねた支え合いのシステムの構築に努めました。

(5)社会福祉大会開催事業（決算額 932,714円）

【推進目標】

- 市内の福祉関係者が一堂に会し、社会福祉の諸情勢について理解を深め、「誰もが住み慣れた地域で共に安心して暮らすことのできる社会福祉の実現」に向け、社会福祉への住民参加と住民福祉の充実を図ります。

【取組み状況】

- ・第65回魚津市社会福祉大会を市民や福祉関係者等約300人の参加のもと、新川文化ホールで開催した。多年にわたり社会福祉の発展に貢献された方々の表彰に続き、議事では参加者総意による大会宣言の承認、大会決議を採択し、「誰もが住み慣れた地域で共に安心して暮らせる福祉社会」の実現に向け、努力することを誓った。大会決議の内容は広報誌、ホームページで公表した。

日 時：平成28年7月9日(土) 午後1時30分～3時30分

内 容：表彰 会長表彰(個人11人・1団体) 感謝状(個人15人・3団体) 映面上映「げんげ」

(6)広報啓発活動事業（決算額 1,000,000円）

【推進目標】

○市社協が「親しみやすさ」や「身近な存在」と感じていただけるよう、常に市民目線で工夫した広報活動に努め、市民の皆様の地域福祉活動への参画を図ります。また、社協の福祉サービスの内容や経営状態を積極的に情報開示し、社会福祉法人として透明性の確保を図ります。

【取組み状況】

・市民の皆様に公表しなければいけない情報（予算・決算等）や、より便利な情報を正確に広報誌やホームページで公表・周知しました。また、広報誌においては、分かりやすい紙面づくり、情報の公開、市民の皆さんに手に取ってもらいやすいように工夫しました。

【広報力向上のための研修会の開催】

日 時：平成28年9月24日(土) 10時00分～15時30分

会 場：社会福祉協議会 第1会議室 各部署の広報担当者等19名参加

内 容：講演「伝える力・拡げる力」 講師：NPO 法人明日育 副代表理事 田尻 佳史 氏
「伝える」をキーワードに、「誰に」、「何を」、「どのように」伝えるのかについて学ぶとともに、現行の広報誌の改善点をグループワークを通して議論しました。本研修会での学びを活かして誌面構成を見直し、「伝えること」に重点を置き、分かりやすい広報誌の作成に取り組みました。

児童センター拠点（決算額 83,090,240円）

1 児童センター管理経営事業（決算額 55,157,235円）

【推進目標】

○児童に健全な遊びを通じて、その健康を増進するとともに情操を豊かにします。

○一般来館者や中高校生の利用増加を図ります。

【取組み状況】

- ・児童センターの活動を地域に知ってもらうとともに、地域や学生利用者のボランティアの協力を得て各児童センターでフェスタを開催しました。
- ・利用者のニーズの変化に応じた児童センターとなるよう、魅力ある様々な行事を企画するとともに、児童の健全育成と来館者の増加に努めました。また、児童厚生員研修等に積極的に参加し職員の資質向上に努めました。
- ・児童センター運営会議を年1回開催し、委員の意見を反映しながら適正な運営に努めました。

（主な行事）

中高生ボランティア参加行事	フェスタ(各センター)、高校生とやきやきバーベキュー(かもめ)、中学生とのクッキング(つばめ)、新川高校のお兄さんお姉さんと遊ぼう(ひばり)、もぐもぐカレーパーティー(すずめ)
地域ボランティア参加行事	フェスタ(各センター)、昔の遊びに挑戦(かもめ)、だんごづくり(つばめ)、つくってあそぼう(ひばり)、読み聞かせ(つばめ・ひばり・すずめ)ひんやりリッチそうめん(すずめ)
地域関係機関との協力行事	身体障害者デイサービス夏祭り(こぼと)、大町公民館『大町キラキラまつり』(こぼと)、防犯教室(つばめ)、募金箱をつくろう教室(ひばり)、みんなの町交流会～東部デイサービスへ行こう～/～いらっしやい東部デイさん～(ひばり)、道下公民館であそぼう(すずめ)、経田福祉センターへ行こう(かもめ)、百楽荘ふれあい訪問(つばめ)

【利用者実績】

(開館日数 各294日)

区 分		平成28年度	平成27年度	増 減	
こぼと児童センター		5,520人	6,020人	△500人	△8.3%
内 訳	小学生	4,118人	4,493人	△375人	△8.3%
	中高生	145人	195人	△50人	△25.6%
	幼児	579人	681人	△102人	△15.0%
	保護者	678人	651人	27人	4.1%
かもめ児童センター		12,533人	12,993人	△460人	△3.5%
内 訳	小学生	10,908人	11,286人	△378人	△3.3%
	中高生	86人	117人	△31人	△26.5%
	幼児	798人	855人	△57人	△6.7%
	保護者	741人	735人	6人	0.8%

つばめ児童センター		22,085人	21,882人	203人	0.9%
内訳	小学生	18,263人	18,732人	△469人	△2.5%
	中高生	17人	9人	8人	88.9%
	幼児	1,927人	1,643人	284人	17.3%
	保護者	1,878人	1,498人	380人	25.4%
ひばり児童センター		15,301人	15,368人	△67人	△0.4%
内訳	小学生	13,210人	13,958人	△748人	△5.4%
	中高生	152人	151人	1人	0.7%
	幼児	986人	646人	340人	52.6%
	保護者	953人	613人	340人	55.5%
すずめ児童センター		17,066人	15,592人	1,474人	9.5%
内訳	小学生	13,830人	13,162人	668人	5.1%
	中高生	12人	22人	△10人	△45.5%
	幼児	1,544人	1,254人	290人	23.1%
	保護者	1,680人	1,154人	526人	45.6%
5館合計		72,505人	71,855人	650人	0.9%
内訳	小学生	60,329人	61,631人	△1,302人	△2.1%
	中高生	412人	494人	△82人	△16.6%
	幼児	5,834人	5,079人	755人	14.9%
	保護者	5,930人	4,651人	1,279人	27.5%

2 放課後児童健全育成事業（決算額 22,682,605円）

【推進目標】

○下校後に保護者等が仕事や事情で家庭にいない児童を対象に、遊びと生活の指導を行い健全な育成を図ります。

○保護者、学校等関係機関との連携を図ります。

○保護者のニーズや要支援児童に対応するための放課後児童支援員の資質向上を目指します。

【取組み状況】

・1日保育(学校休業日と春夏冬休み期間中8時～18時)、学期中(放課後～18時)、土曜日(8時～18時)、延長保育(18時～19時)、また、夏休み中間期の早朝保育(7時30分～8時)を平成28年度から正式に実施しました。

・放課後児童支援員資格取得研修等へ積極的に参加し、職員の資質向上に努めました。

【利用実績】

(開設日数 各292日)

区分	平成28年度			平成27年度			増減		
	登録人数	利用状況	延長保育 早朝保育	登録人数	利用状況	延長保育 早朝保育	登録人数	利用状況	延長保育 早朝保育
こばと児童セ	16人	2,103人	13人 35人	13人	2,401人	36人 -	3人	△298人	△23人 -
かもめ児童セ	50人	6,458人	266人 127人	58人	7,151人	490人 -	△8人	△693人	△224人 -
つばめ児童セ	110人	16,298人	511人 270人	113人	16,688人	446人 -	△3人	△390人	65人 -
ひばり児童セ	98人	11,012人	135人 223人	101人	12,006人	250人 -	△3人	△994人	△115人 -
すずめ児童セ	83人	12,341人	304人 179人	82人	11,693人	724人 -	1人	648人	△420人 -
合計	357人	48,212人	1,229人 834人	367人	49,939人	1,946人 -	△10人	△1,727人	△717人 -

3 地域子育て支援事業（決算額 5,250,400円）

【推進目標】

○地域の子育て支援機能の充実を図り、子育て世帯の不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを促進します。

【取組み状況】

・会員制の親子教室の対象児童の年齢を1歳以上から6ヶ月以上に引下げ、参加者の増加へとつなげました。また、夏休み中の開催回数を増加(つばめ・ひばり・すずめ)したことにより、安心して遊べる場を利用者に提供しました。

【利用実績】

区 分	平成28年度			平成27年度			増 減		
	回数	幼児	保護者	回数	幼児	保護者	回数	幼児	保護者
こぼと児童センター	40回	236人	236人	38回	219人	198人	2回	17人	38人
かもめ児童センター	40回	264人	239人	38回	183人	166人	2回	81人	73人
つばめ児童センター	135回	1,321人	1,229人	114回	1,090人	993人	21回	231人	236人
ひばり児童センター	135回	739人	592人	114回	245人	219人	21回	494人	373人
すずめ児童センター	135回	1,121人	1,099人	114回	923人	734人	21回	198人	365人
合 計	485回	3,681人	3,395人	418回	2,660人	2,310人	67回	1,021人	1,085人

障害福祉サービス拠点 (決算額 76,975,168円)

1 障害者交流センター管理経営事業 (決算額 4,125,642円)

【推進目標】

- 相談機能を活かし、障がい者の自立と社会参加を支援します。
- 新川地区で唯一の障害者交流の拠点施設として利用者ニーズに沿った運営と利用者数の拡大を図ります。

【取組み状況】

- ・昨年度に続き、障がいのある方を対象としたダンス教室を開催しました。今年度は14名が登録し月2回練習しました。また、藤井友里子選手の練習拠点である交流センターでパラリンピックのボッチャ競技の決勝戦の速報を上映し、約70名の方が応援に集まりました。

【利用実績】

区 分	平成28年度	平成27年度	増 減
団体数	534団体	467団体	67団体
利用者数	8,049人	8,599人	△550人

2 障害者地域生活支援事業 (決算額 12,945,335円)

(1)障がい者相談支援事業 (決算額 11,983,335円)

【推進目標】

- 障がい者やその家族等からの様々な相談に応じ、必要な情報提供や助言、障害福祉サービスの利用支援等に努め、障がい者の自立した日常生活及び社会生活を支援します。
- 相談支援専門員が障害福祉サービス等の利用を希望する障がい者の総合的な援助方針や解決すべき課題を踏まえ、最も適切なサービスの組合せ等を検討し支援します。

【取組み状況】

- ・市内の在宅障がい者やその家族に対して、福祉サービスの利用、社会資源の活用についての相談、社会生活力を高めるための情報提供を行いました。
- ・サービス等利用計画の作成とモニタリングを実施しました。

【支援方法実績】

区 分	平成28年度	平成27年度	増 減
訪問	82件	204件	△122件
来所相談	68件	101件	△33件
同行	38件	38件	0件
電話・メール相談	545件	476件	69件
その他	60件	98件	△38件
合 計	793件	917件	△124件

【サービス等利用計画作成実績】

区 分	平成28年度	平成27年度	増 減
新規	87件	50件	37件
モニタリング	48件	33件	15件
合 計	135件	83件	52件

(2)手話・朗読奉仕員養成事業（決算額 600,000円）

【推進目標】

- 障がい者との交流を図るための手話教室の開催や朗読奉仕員を養成します。
- 受講修了者の継続的なボランティア活動への参加を促進します。

【取組み状況】

- ・手話教室(入門課程)を5月から9月まで開催し、11名が受講されました。10月からは月に1回フォローアップ教室を行い、平成29年度の基礎講座の受講に結びました。手話サークルに1名が新しく登録されました。
- ・朗読奉仕員養成講座を6月から開講し、8名が受講されました。うぐいすの会の登録者も参加され、レベルアップを図ることができました。

(3)障害者IT推進員派遣事業（決算額 362,000円）

【推進目標】

- 障がい者のパソコン等の使用に関する相談や援助を行い、社会参加を促進します。

【取組み状況】

- ・パソコン教室を交流センターと工房あおの丘の2会場で実施しました。新しい利用者も増え、毎月10名程の方が利用されました。内容はワードやエクセルの基本からインターネットの利用方法やタブレット使用など個々のニーズに合わせて取り組みました。

3 グループホーム大光寺事業（決算額 11,063,421円）

【推進目標】

- 入居者6名が地域で自立した生活を送ることができるよう、個別支援計画の作成と定期的なモニタリングを実施します。
- 地域住民の一員としての生活づくりを支援します。

【取組み状況】

- ・個別支援計画に基づき、関係職員が揃いケース会議を開き、支援内容の確認を行いながら生活を支援しました。また、地域住民の一員として近隣の方への挨拶、ゴミステーションの掃除やお祭りなどの行事に参加しました。
- ・月に1度、グループホーム大光寺通信で関係機関にホットな情報を発信しました。
- ・敷地内に自転車小屋を設置し、入居者の生活環境の改善を図りました。

4 つくし学園管理経営事業（決算額 48,840,770円）

(1)児童発達支援事業(通園部) 定員20名

【推進目標】

- 障がいのある子ども達が食事、排せつ、着替えなどの日常生活動作や集団活動への参加など、一人ひとりに合わせた個別の発達支援を行います。

【取組み状況】

- ・園児の安全、体調等に細心の注意を払い発達支援を行いました。一人ひとりに質の高い支援を行うために職員が協働で個別支援計画を作成し、毎日の終礼時に情報共有、支援内容の確認を行いました。
- ・地域の保育園と当園を併行して利用する児(併行通園)が増加しており、併行通園先の園と連携して支援を行いました。
- ・保護者との定期的な懇談会・家庭訪問による面接以外にも、日々の保護者の思いや悩みを的確に受け止めながら家族支援に積極的に取り組みました。
- ・保護者の就労などにより保育ニーズが高まっており、8時から16時30分までの受け入れや、相談支援事業を他事業所と連携して対応しました。
- ・支援の質を高めるために職員が研修会等へ積極的に参加しました。また、園内での研修会、グループスーパービジョン方式による事例検討会を定期的に行い、職員のスキルアップを行いました。
- ・利用者のニーズに応じた園の運営を行うため、行事ごとにアンケート調査を実施し、保護者の思いに沿った行事の企画に努めました。

【平成28年度新規事業】 初詣 ファミリーレストランの利用

- ・保護者同士の気軽な交流の場(おしゃべりカフェ)の定期的な開催、子どもたちの支援方法や福

社制度に関する勉強会を開催し、保護者が子どもと向き合える土台づくりに努めました。

【平成28年度新規事業】 障害者福祉施設見学会

・ボランティアの受入れ、地域住民との交流活動を積極的に行い、支援の必要な子どもたちへの理解促進に努めました。

【平成28年度新規事業】 障害者福祉施設・事業所めぐり

・実習生の受入れや大学生の卒業研究の協力等を通じ、地域の福祉人材の育成を行いました。

【開所日、利用者数一覧】

区 分	平成28年度	平成27年度	増 減
開園日数	240日	240日	0日
在籍児童数（3月末時点）	15人	16人	△1人
延べ利用園児数	2,612人	3,070人	△458人

(2)保育所等訪問支援事業

【推進目標】

○発達に支援が必要な子ども達が通っている地域の保育園等へ訪問し、集団生活での基本的動作や活動参加のために必要な支援を行います。

【取組み状況】

・保護者のニーズ、保育園の思いなどを丁寧にすり合わせながら支援を行うため、保護者との面談、保育園でのカンファレンスなどを確実に実施しました。また、保育園側の思いや障がい児対応の悩みなどを把握し、実践しやすい支援内容を伝えました。

・従来は、つくし学園へ通園しての発達支援サービスを利用する状況でしたが、保護者のニーズ変化により保育所等訪問支援事業の利用が増加しました。

【利用状況】

区 分	平成28年度	平成27年度	増 減
契約児童数（3月末時点）	7人	6人	1人
延べ利用件数	100件	28件	72件

(3)障害児相談支援事業

【推進目標】

○障がいのある子ども達やそのご家族が地域で安心して暮らすために様々な福祉サービスや社会資源を利用することを目的に、障害児支援利用計画(ケアプラン)を作成します。子どもの思いや家族の思いに寄り添いながら、ライフステージの一步を安心してスタートできるように支援します。

【取組み状況】

・子どもの発達に不安を抱えながらも、障がいを認めてサービスを利用しなければならない現実の中で、保護者の揺れ動く思いを受け止めながらサービス調整を行ったり、ライフステージに応じた切れ目のない支援や保健、医療、教育、保育などの関係機関と連携し本人も家族もみんなが地域で楽しく生活できるようケアプラン作成を行いました。

・当園の利用者以外のサービス等利用計画作成の依頼にも積極的に対応しました。

・新川地域自立支援協議会児童部会の幹事として、新川地域の障害児福祉事業所と連携して、子どもたちが暮らしやすい地域づくりを行いました。また、今後の相談支援体制のあり方、相談支援の質の向上のための体制整備への協力も行いました。

【利用状況】

区 分	平成28年度	平成27年度	増 減
延べ利用件数	379件	335件	44件

(4)障害児等療育支援事業

【推進目標】

○在宅障がい児(者)が地域で暮らし続けるために様々な相談や当事者グループ活動を行います。

【取組み状況】

・県受託事業であり、新川地域の児童発達支援センターとして求められる「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」の機能を果たすために積極的に事業を実施しました。

・グループ療育(りんご教室)への参加希望者の増加により、会場を身体障害者デイサービスセンター2階に変更し、より利用者ニーズに応じた支援ができるような体制に努めました。

【利用状況】

区 分		平成28年度	平成27年度	増 減
外来療育 等 指 導	個別	118件	24件	94件
	グループ	67件	53件	14件
施設支援等指導		33件	35件	△2件
訪問療育等指導		12件	11件	1件
合 計		230件	123件	107件

老人福祉センター拠点 (決算額 42,447,430円)

1 福祉センター管理経営事業 (決算額 30,548,572円)

(1)福祉センター百楽荘管理経営事業 (決算額 19,775,601円)

【推進目標】

- 高齢者の交流と憩いの場として利用しやすい、利用したくなるような施設運営を目指します。
- 年間延利用者数 12,500人

【取組み状況】

- ・新規のボランティア団体を受け入れ、利用者の拡充を図りました。
- ・月2回の魚津第二保育園とのふれあい交流会に参加している祖父母(希望者)にセンターの行事予定表を配付しました。
- ・本会地域福祉課及び居宅介護支援事業所、市地域包括支援センターと連携し、閉じこもり傾向にある高齢者に対してセンター利用の促進に努めました。
- ・イベント開催時の報道機関への取材依頼、出張サロンや広報誌で事業のPRやチラシの配布を行いました。
- ・1月上旬に浴場ボイラー故障に伴う浴場の廃止、1月下旬に暖房ボイラー故障に伴う入替工事の期間は閉館(1/22～2/28)としたため、推進目標の12,500人に達することができませんでした。

【利用実績】

(開館日数 271日)

区 分	福祉センター百楽荘			
	平成28年度	平成27年度	増 減	
一般利用者数	4,677人	5,277人	△600人	△11.4%
回数券利用者数	5,925人	6,954人	△1,029人	△14.8%
免除利用者数	934人	762人	172人	22.6%
合 計	11,536人	12,993人	△1,457人	△11.2%
1日あたり	42.5人	42.7人	△0.2人	△0.5%

(2)経田福祉センター管理経営事業 (決算額 10,772,971円)

【推進目標】

- 高齢者の交流と憩いの場として利用しやすい、利用したくなるような施設運営を目指します。
- 年間延利用者数 5,700人

【取組み状況】

- ・新規にカラオケ友愛会(市老人クラブ連合会)の発表を年3回開催しました。
- ・本会地域福祉課及び居宅介護支援事業所、市地域包括支援センターと連携し、閉じこもり傾向にある高齢者に対してセンター利用の促進に努めました。
- ・出張サロンや広報誌で事業のPRやチラシの配布を行いました。
- ・経田地区の地域性もあり、おたっしゅ介護予防教室の参加者が増え、推進目標の5,700人を上回りました。

【利用実績】

(開館日数 305日)

区 分	経田福祉センター			
	平成28年度	平成27年度	増 減	
一般利用者数	2,128人	2,147人	△19人	△0.9%
回数券利用者数	3,566人	2,740人	826人	30.1%
免除利用者数	1,401人	1,170人	231人	19.7%
合 計	7,095人	6,057人	1,038人	17.1%
1日あたり	23.2人	19.8人	3.4人	17.1%

2 通所型介護予防事業（決算額 11,898,858円）

(1)通所型介護予防事業（決算額 10,396,163円）

【推進目標】

○両福祉センターを拠点として、認知症予防や閉じこもり予防を目的とした介護予防事業「おたっしゅ介護予防教室」を実施し、健康増進、教養の向上、脳トレなどの生きがいを推奨します。

【取組み状況】

- ・4月、おたっしゅ介護予防教室のチラシを全戸配布しました。
- ・NICE-TVで「おたっしゅ介護予防教室」を紹介してもらった効果があり、広く介護予防教室を周知できました。
- ・従来の教室に加えて、魅力ある新規教室として、折り紙教室と書道教室(月1回)・女性のための健康麻雀教室(月1回程度)、ぬり絵教室(不定期)を開催しました。
- ・地域のサロンへ出向き、『出前おたっしゅ介護予防教室』を開催して、地域住民に介護予防の重要性を周知しました。
- ・百楽荘においては、1月下旬の暖房ボイラー故障に伴う入替工事の期間は閉館(1/22～2/28)としたため、教室の開催はできませんでしたが、全体的に参加者数は増加しました。

【利用実績】

(開催日数：235日)

区 分	平成28年度	平成27年度	増 減
バイタル	4,265人	4,326人	△61人
体操・運動	5,286人	5,015人	271人
認知症レクリエーション	5,286人	5,015人	271人
創作・趣味・認知予防教室	6,119人	5,971人	148人
栄養改善教室	831人	811人	20人
合 計	21,787人	21,138人	649人

(2)通所型介護予防送迎事業（決算額 1,502,695円）

【推進目標】

○高齢者が通所介護予防事業に参加するため、拠点である福祉センター(百楽荘・経田)への送迎業務を実施します。

○通所型介護予防事業及び福祉センター事業の積極的なPRによる利用者数の増加を図ります。

【取組み状況】

- ・4月、送迎バスの運行予定表のチラシを全戸配布しました。
- ・出張サロンなどで、送迎バスの運行についてPRしました。
- ・百楽荘においては、1月下旬暖房ボイラー故障に伴い入替工事の期間は閉館(1/22～2/28)としたため、利用者は減少となりました。

【運行実績】

区 分	平成28年度		平成27年度		増 減	
	運行回数	利用者数	運行回数	利用者数	運行回数	利用者数
虎谷・石垣ルート	43回	271人	48回	343人	△5回	△72人
片貝・加積ルート	44回	505人	50回	631人	△6回	△126人
西布施ルート	50回	418人	48回	370人	2回	48人
合 計	137回	1,194人	146回	1,344人	△9回	△150人

介護保険サービス拠点（決算額 391,702,414円）

1 ホームヘルパーステーション事業（決算額 140,809,337円）

【営業日・営業時間】

12月29日～翌年1月3日を除く毎日 午前7時～午後9時

【推進目標】

○要介護の方や障がいのある方が、地域社会の中で安心して自立した日常生活を送ることができるよう、身体介護その他生活全般にわたり援助を行います。

【取組み状況】

- ・介護保険や障害福祉サービス利用者の方が在宅で安心して暮らせるよう、早朝・夜間の対応や

受診同行、移動支援等の多様なサービスを提供しました。また、居宅介護支援事業所や関係事業所との情報共有や連携強化、職員の資質向上を図りながら、利用者満足度の高い質のサービス提供に努めました。

・サービス提供実績は昨年度より全体で3,000件超の増加となり、介護保険事業収益は7.7%増、障害福祉サービス等事業収益は14.0%増となりました。

【サービス提供実績】

(1)訪問介護

区 分	平成28年度	平成27年度	増 減	
身体介護	11,503件	10,441件	1,062件	10.2%
身体介護に引き続き生活援助	1,360件	1,202件	158件	13.1%
生活援助	4,501件	4,932件	△431件	△8.7%
合 計	17,364件	16,575件	789件	4.8%

(2)介護予防訪問介護

区 分	平成28年度	平成27年度	増 減	
予防Ⅰ～予防Ⅲ	2,755件	4,096件	△1,341件	△32.7%
合 計	2,755件	4,096件	△1,341件	△32.7%

(3)介護予防・日常生活支援総合事業 ※平成27年度は市内での事業実施なし。

区 分	平成28年度	平成27年度	増 減	
訪問型サービス1～3	2,543件	—	2,543件	—
合 計	2,543件	—	2,543件	—

(4)障害者等居宅介護

区 分	平成28年度	平成27年度	増 減	
身体介護	5,305件	3,790件	1,515件	40.0%
家事援助	1,676件	1,391件	285件	20.5%
通院介助	18件	0件	18件	—
同行援護	80件	167件	△87件	△52.1%
移動支援	118件	389件	△271件	△69.7%
合 計	7,197件	5,737件	1,460件	25.4%

(5)生活管理指導員派遣事業(市受託事業) ※(3)の事業開始により平成27年度末で廃止。

区 分	平成28年度	平成27年度	増 減	
派遣時間(20分以上45分未満)	—	117件	△117件	—
派遣時間(45分以上70分未満)	—	175件	△175件	—
合 計	—	292件	△292件	—

(6)私的援助サービス(介護保険等の対象外)

区 分	平成28年度	平成27年度	増 減	
身体介護	3件	2件	1件	50.0%
生活援助	608件	550件	58件	10.5%
外出援助	171件	103件	68件	66.0%
受診待ち	93件	267件	△174件	△65.2%
合 計	875件	922件	△47件	△5.1%
(1)～(6)総合計	30,734件	27,622件	3,112件	11.3%

2 東部デイサービスセンター事業(決算額 129,476,592円)

【営業日・営業時間】

利用定員35名

12月31日～翌年1月3日を除く毎日 午前9時～午後4時

【推進目標】

○通所介護、介護予防通所介護、認知症対応型通所介護の指定事業所として個々のニーズに合わせた個別ケアや生活機能訓練を行います。

○「転ばない」「おいしく食べることができる」「笑顔がふえる」をモットーに、質の高いサービスを提供します。

【取組み状況】

・利用者の個々のニーズに合わせた通所介護計画の作成や評価を行い、利用者とその家族が安心

して在宅生活を送れるよう支援するとともに、回想法や脳トレなど認知症の進行予防に効果的なレクリエーションプログラムをより多く取り入れました。また、認知症対応型通所介護における地域との連携や運営の透明性を確保するため「運営推進会議」を年3回開催し、利用者家族や地域の方々の様々な要望や助言を活かしながら質の高いサービスの向上に努めました。

・サービス提供実績は昨年度より全体で400件超の増加となり、介護保険事業収益は4.0%増となりました。(営業日数：361日 1日平均利用：27.1人)

【サービス提供実績】

(1)通所介護

区 分	平成28年度	平成27年度	増 減	
利用者数	4,786人	4,542人	244人	5.4%

(2)介護予防通所介護

区 分	平成28年度	平成27年度	増 減	
利用者数	1,212人	1,561人	△349人	△22.4%

(3)認知症対応型通所介護

区 分	平成28年度	平成27年度	増 減	
利用者数	3,513人	3,294人	219人	6.6%

(4)介護予防・日常生活支援総合事業 ※平成27年度は市内での事業実施なし。

区 分	平成28年度	平成27年度	増 減	
利用者数	290人	—	290人	—
(1)~(4)総合計	9,801人	9,397人	404人	4.3%

3 身体障害者デイサービスセンター事業 (決算額 62,889,698円)

【営業日・営業時間】

利用定員23名

日曜日、祝日及び12月29日～翌年1月3日を除く月曜日～土曜日 午前9時～午後4時

【推進目標】

- 質の高いサービスを提供します。
- 利用者の確保と効率的な運営を目指します。
- 地域社会参加活動の充実を図ります。

【取組み状況】

- ・障がいのある方が、生活改善や健康、身体機能の維持向上を図り、生きがいを持ってできるだけ自立した生活を送れるよう支援しました。また、障がいの特性を理解することを目的に、ケース検討会の開催や他職種との連携し、質の高いサービス提供に努めました。
- ・利用者が地域に出向き障がい理解を深める活動を実践し、社会参加の充実を図りました。
- ・サービス提供実績は昨年度より全体で40人増加となりましたが、介護保険事業収益は13.7%減、障害福祉サービス事業収益は2.8%増となりました。(営業日数：295日 1日平均利用：17人)

【サービス提供実績】

(1)身体障がい者デイサービス(市受託事業)

区 分	平成28年度	平成27年度	増 減	
利用者数	283人	267人	16人	6.0%

(2)通所介護

区 分	平成28年度	平成27年度	増 減	
利用者数	1,121人	1,104人	17人	1.5%

(3)介護予防通所介護

区 分	平成28年度	平成27年度	増 減	
利用者数	212人	642人	△430人	△67.0%

(4)介護予防・日常生活支援総合事業 ※平成27年度は市内での事業実施なし。

区 分	平成28年度	平成27年度	増 減	
利用者数	324人	—	324人	—

(5)生活介護(障害者総合支援法)

区 分	平成28年度	平成27年度	増 減	
利用者数	3,089人	2,976人	113人	3.8%
(1)~(5)総合計	5,029人	4,989人	40人	0.8%

4 居宅介護支援事業（決算額 58,526,787円）

【営業日・営業時間】

祝日及び12月29日～翌年1月3日を除く月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時30分

【推進目標】

- 利用者の尊厳保持や自立支援を重視した公正、中立、誠実なケアマネジメントを実施します。
- 質の高いケアマネジメントを提供します。
- 介護支援専門員を増員し、効率的な業務と安定した経営を目指します。

【取組み状況】

- ・今年度から職員を6人から7人に増員し、1人あたりの担当利用者数を38人から32人程度としたことで、よりきめ細やかに対応することができました。
- ・認知症の一人暮らし高齢者や認知介護の世帯など、多くの問題を抱えているケースにも積極的に関わり、利用者が住み慣れた自宅で生活ができるよう支援に努めました。
- ・職員全員が月1回以上研修会に参加し、質の高いケアマネジメント努めました。
- ・利用者確保し安定した経営につなげるため、地域包括支援センターや病院等に対し事業所のPRを行い、紹介された困難事例にも積極的に取り組みました。
- ・ケアプラン作成実績は昨年度より全体で23件増加となり、介護保険事業収益は0.8%増となりました。

【ケアプラン作成実績】

区 分	平成28年度	平成27年度	増 減	
要介護1	1,197件	1,034件	163件	15.8%
要介護2	595件	722件	△127件	△17.6%
要介護3	416件	463件	△47件	△10.2%
要介護4	309件	263件	46件	17.5%
要介護5	61件	73件	△12件	△16.4%
合 計	2,578件	2,555件	23件	0.9%